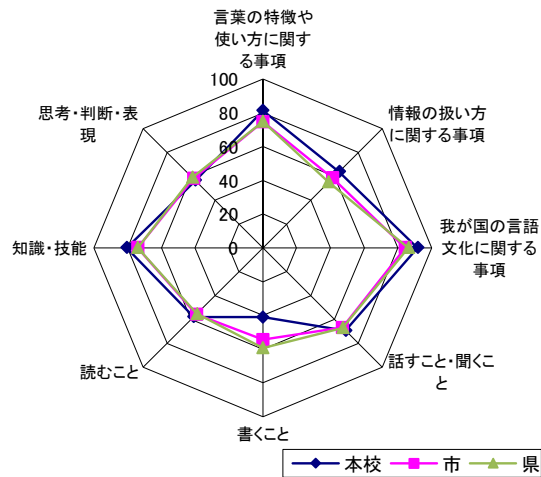


宇都宮市立横川中央小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

問題に 関する 領域等	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に 関する事項	81.3	74.7	74.8
	情報の扱い方に 関する事項	63.9	58.4	55.0
	我が国の言語文化に 関する事項	91.6	84.3	86.1
	話すこと・聞くこと	69.3	66.7	66.9
	書くこと	41.0	54.3	59.3
	読むこと	57.8	55.6	55.2
観点	知識・技能	80.6	74.1	74.0
	思考・判断・表現	56.5	58.0	59.1



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に 関する事項	○言葉の特徴や使い方に 関する事項の平均正答率 は81.3%で、県より6.6ポ イント上回っている。 ○漢字の読み・書きでは、 全て県の正答率を上回 っている。 ●「主語と述語の組合せ として適するものを選ぶ。」 選択式の問題については、 県の正答率を8.1ポ イント下回っている。	・漢字の読み、書きにお いては、国語科の授業 だけでなく、他教科の 学習等や日常生活にお いても繰り返し漢字の 読み書きを練習させ、 更に定着を図っていく。 ・文章の中で、主語と 述語の関係を理解させ 定着を図る。
情報の扱い方に 関する事項	○情報の扱い方に 関する事項の平均正答 率は63.9%で、県より 8.9ポイント上回って いる。 ○「国語辞典の使い方 を理解している。」では、 例文で用いられた言葉 の意味として適するもの を選ぶ問題で、県の正 答率を上回っている。	・日頃より、国語辞典 の使い方に慣れ親しみ、 語彙力を伸ばしていく ように指導する。
我が国の言語文化に 関する事項	○我が国の言語文化に 関する事項の正答率は 91.6%で、県より7.3 ポイント上回っている。 ○「漢字が、へんやつ くりなどから構成されて いることについて理解 している。」問題につ いて、県の正答率を上 回っている。	・新出漢字の学習では、 今後も漢字のへんやつ くりについて触れ、児 童が文字の構成につ いてさらに興味をも って取り組むことが できるようにしていく。
話すこと・ 聞くこと	○話すこと・聞くこと に関する事項の正答率 は69.3%で、県より 2.6ポイント上回って いる。 ○「司会者の話し方の 工夫を説明した文とし て適するものを選ぶ。」 問題の正答率は、86.8 %と、県よりも10.6 ポイント上回っている。 ●「司会の役割を果た しながら話し合い、参 加者の発言を基に、考 えをまとめる。」記述 式の設問は、正答率 は30.1%と県より 0.5ポイント上回った が、無回答が26.5% となっている。	・国語科だけでなく、 学級活動や他教科に 話し合い活動を積極 的に取り入れ、司会 者と参加者の役割を 理解して、司会者が 参加者の意見を予測 して発言する等、話 合いの仕方を身に付 けていくようにする。 ・伝え方マニュアル やヒントカードを用 意して、児童が理由 を挙げて話すことに 困難さを感じた場合 は、活用して話すこ とができるようにし ていく。
書くこと	●書くことに関する 事項の正答率は41.0 %で、県より13.3ポ イント下回っている。 ●指定された長さで 文章を書くことや、自 分の考えを明確にし て文章を書くことに 課題がある。 ●どの設問でも無回 答が15.6%～20.8 %となっている。	・手本を視写する活 動を通して書き方に 慣れさせ定着を図 る。 ・文字数や段落構成 など指定された書き 方で、自分の考えを 文章にまとめる活 動を充実させてい く。 ・朝の学習の時間 に書く活動を多く 取り入れ、生活文 のみならず、報告 文、レポート、意 見文など様々な文 章形式を書く機会 を増やす。
読むこと	○読むことに関する 事項の正答率は57.8 %で、県より2.2ポ イント上回っている。 ●物語文の「登場人 物の気持ちについて、 叙述を基に捉えて いる。」の設問では、 正答率が45.6%で 県より3.8ポ イント下回っている。	・学校図書館の「 チャレンジブック」 を活用し、いろい ろな分野の本に触 れさせていく。 ・5W1Hを日頃の 授業において意識 させながら場面の 移り変わりを把握 できる力を定着さ せるようにする。 ・物語文では、叙 述に基づいて場面 の様子を正確に捉 えられるよう、指 導していくように する。